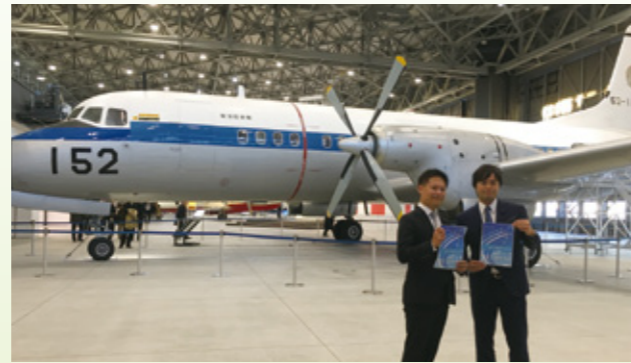


あいち航空ミュージアムオープン!!

11月30日、県営名古屋空港内に「あいち航空ミュージアム」がオープンしました。このミュージアムは、アジアで随一の集積を誇る愛知の航空機産業のシンボルとして、「情報発信」、「産業観光」、「人材育成」の3つの柱をコンセプトに、愛知県が構想から約4年をかけて整備を進めてきたものです。

館内には、名古屋空港で初飛行した国産旅客機YS-11など、愛知ゆかりの機体を中心とした実機の展示のほか、日本の航空史に残る航空機100機を25分の1スケールで再現した超精密模型の展示、パイロット等の職業体験、上空を飛んだ気分での地域の風景を楽しむことができる「フライングボックス」など、見

て、触って、楽しめるコンテンツが揃っています。皆さまのご来場をお待ちしております。



あいち航空ミュージアム

ラグビーワールドカップの試合日程が決定!

いよいよ来年、豊田スタジアムを始め全国12会場でラグビーワールドカップが開催されます。11月2日には48試合全ての試合日程と会場が発表されました。

地元の豊田スタジアムでは、世界最高レベルのビッグマッチ4試合が決定しました。9月23日に世界ランク7位の英国ウェールズ戦、28日に世界ランク5位の南アフリカ戦、そして10月5日に我らの日本代表の試合が開催され、12日には世界ランク1位「オールブラックス」の愛称で知られるニュージーランド戦も開催されます。

試合は全て祝日、土曜日で、観戦には最適な日程

です。世界三大スポーツ大会の一つと言われるラグビーワールドカップの開催が今から楽しみです。



愛知・豊田ラグビーフェスタ2017
トヨタ自動車ヴェルブリッツvsメルボルン・レベルス(オーストラリア)

ひび挑戦!

11月24日、今年度、高蔵寺ニュータウンで予定されている近未来のモビリティ実証実験の第一弾となる「歩行支援モビリティ」のWHILL(ウィル)とCOMOVE(コモビ)に試乗しました。ウィルでは片道1.2キロのコースを40分かけて往復しました。簡単な操作で安定感抜群!坂の多い街での買い物には最適です。今後、運転席に人が座らない遠隔型自動運転を含む様々な実験がニュータウンで展開される予定です。



WHILL(ウィル)



COMOVE(コモビ)

下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

住所 春日井市中央台6-7-4

電話 0568-70-0594

FAX 0568-70-0580

HP <http://www.hibi55.com/>



日比たけまさ県政レポート 第27号

発行元:日比たけまさ事務所 春日井市中央台6-7-4 TEL:0568-70-0594 発行責任者:日比たけまさ

2018年スタート

2018年がスタートしました。みなさまにとって輝かしい一年となりますよう祈念いたします。

毎年この時期、市内にある県立高等学校の卒業生に向けた「お祝いのことば」を作文します。今年は、これから「夢」を抱き道を歩み始める若者に、「夢」を実現するための言葉として、「日本近代資本主義の父」といわれ、明治・大正期に約500社の企業を設立した渋沢栄一翁の「夢七訓」を贈りました。

500社のうち約6割の会社は、合併・国有化等を経て現在も事業を継続しているといわれ、春日井市に工場がある王子ホールディングス株式会社もその一つです。

「夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」

「自分がどうなりたいか」という「欲」だけでなく、「欲

を通して「世の中に何を提供していくか」という「夢」を語って欲しい。そんな思いをメッセージに込めました。

将来を担う若者たちが「夢」を描ける土台をしっかりと構築することこそ私の「夢」でもあります。

ひび挑戦! 本年もよろしくお祈りいたします。



渋沢栄一翁

12月定例会開催

愛知県議会12月定例会は12月1日から20日まで開かれ、総額約47億4220万円の補正予算と条例関係ほか23件の議案が提案され、可決成立しました。補正予算の内容は、大府市にある国立長寿医療研究センターの機能強化に向けた建設計画や資金調達手法等について、県として新たな発想で支援するための調査費、航空宇宙産業における県内企業の海外販路開拓支援費などです。

特に、国立長寿医療研究センター支援のための調査費は、本県として認知症に理解の深いまちづくりの実現を目指す「オレンジタウン構想」の中核をなすセンターの建替が滞っている現状の進展を目指すものです。

補正予算案以外の議案としては、国民健康保険事業費納付金の徴収に関する条例の制定などが可決成立。私学助成拡充の請願2件ほか、私たちから提案した「教職員定数改善」「中小企業における人材確保」の意見書などが採択されました。



国立長寿医療研究センター

代表質問 天野 正基 政策調査会長(小牧市選出 3期)

《Q》 育児等で離職せず安心して働き続けられる環境づくりへの取組

《知事》 女性の仕事と家庭の両立に対する前向きな意識に応えられるよう、企業における長時間労働

働きの是正はもとより、短時間勤務制度やテレワークなど柔軟な働き方の導入、また男性の家事参加、育児参加の促進、そして社会全体での子育て支援など総合的な取組を進めていく。

委員会関係

12月25日、健康福祉委員会の県内調査にて春日井市にある「愛知県心身障害者コロニー」と名古屋市千種区にある「愛知県精神医療センター」を訪問しました。そこで、今回は地元にある愛知県心身障害者コロニーを紹介します。

コロニーは昭和43年6月に開設し、心身の発達に障害のある人が明るく幸せな生活を営むことができるよう、療育、医療、教育、職業訓練等を行うとともに、心身の発達障害の原因探求や治療・予防のための研究をし、障害の程度とライフステージに応じた支援に取り組んできました。

その間、平成14年に策定された国の障害者基本計画や平成17年に成立した障害者自立支援法などにより、障害福祉のあり方は“施設福祉”から“地域福祉”へ、また、障害のある人たちの地域生活における自立に向けた支援へと大きく変化する一方、コロニー内では入所者の高齢化、障害の重度化、入所期間の長期化等により、入所者に対する「地域での自立に向けた支援」が困難になってきました。

そこで県は平成19年3月、「愛知県心身障害者コロニー再編計画」を打ち立てました。計画では、「入所者の地域生活における自立を実現するため、地域生活移行を計画的に推進し、地域生活を営む障害のある人たちの総合的にサポートする、医療支援及び療育支援の拠点施設へ転換する」ことを掲げています。

計画から10年が経ち、常時濃厚な医療が必要な重度心身障害児(者)を除く施設入所者の地域生活移行も概ね進み、平成28年6月には医療型障害児入所施設である「こぼと学園(※)」およびリハビリセンターの建替が完了、現在は新しい病院、研究所等の入った本館棟の建設が進められ、平成31年には医療療育総合センター(仮称)として生まれ変わる予定です。

今回は、新しくできたこぼと学園及び建替前のコロニー中央病院を見学しました。中央病院は心身に発達障害のある人を対象に生後間もない小児期から成人に至るまで幅広く医療を展開している日本でも稀有な病院で、昨年度は延べ約3万人(入院患者)、約4万5千人(外来患者)の方にご利用いただいています。

その他にもコロニーには、春日台特別支援学校等も整備されています。

コロニーになじみの薄い方も見えかと思いますが、毎年秋には、コロニー内外の方々と共に楽しみながら相互理解を深めることを目的とした「コロニー祭」が開かれますので、ぜひ足をお運び頂けると幸いです。

※こぼと学園には、重度の知的障害及び肢体不自由が重複しており、「食事、入浴など基本的な日常生活動作に介助が必要とする場合」、「医療や介護が常に必要とされる場合や、訓練が必要とされる場合」、「家族の病気・出産などで家庭での介護が困難な場合」といった条件を有している方が入所されています。



コロニー再編計画の一環、障害者支援施設養楽荘・はるひ荘の開所式



こぼと学園



中央病院



コロニー祭

代表質問

《Q》 地域包括ケアシステムの構築を進めていくための地域住民への周知と担い手確保についての取組

《知事》 地域における支え合いへの参加を促進する普及啓発や人材育成などに取り組み、地域包括ケアシステムの構築をしっかりと進めることで、健康寿命を伸ばし自らの意欲や能力に応じていきいきと暮らせる生涯現役社会、すべての「人が輝く愛知」の実現をめざす。

《Q》 食品ロス削減に向けた取組

《知事》 食品ロスの削減には、県民の皆さまへの啓発を始め、食品の有効活用や食育の推進など様々な取組が必要である。県として今後も企業や関係団体、市町村などと連携しながら、食品ロスの削減に向けた取組を進めていく。



宴会時の食べ残しを削減する3010運動(最初の30分、最後の10分をみんなで食べる時間とする運動)

《Q》 「あいちトリエンナーレ2019」開催に向けた取組

《知事》 各界に多彩な人脈を持ち、ITにも造詣が深い津田芸術監督の知見を生かし、スマホアプリを活用した、わかりやすい作品解説の導入や祝祭感溢れるイベントの開催などを検討していく。「あいちトリエンナーレ2019」が新たな驚きや感動に満ちた魅力溢れる芸術祭となるようしっかりと取組を進めていく。

《Q》 あいち産農林水産物の需要拡大に向けた取組

《知事》 海外に向けた取組として、アジアの有望国での「愛知フェア」の開催が一巡したことから、今後は輸出に意欲がある事業者を対象に国内で開催される国際的な食品展示会や花き商談会への出展を支援し、海外バイヤーとの商談の機会を設けるとともに、海外からのインバウンド需要を確保する取組を進めていく。



マレーシアでの愛知フェア

一般質問

「ヘルプマークの早期導入」と知事確約

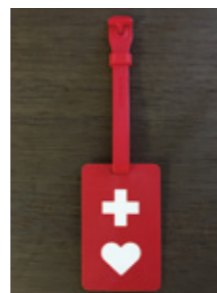
鳴海やすひろ議員(名古屋市市中村区選出 1期)は、障害や目に見えない内部疾患を持った方への認知・理解促進について質問。平成24年から東京都で配布が始まった「ヘルプマーク」は現在、全国13の都道府県、18の市町村で実施・配布されており、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方が、配慮を必要としていることを周囲に知らせるための有効な手段となっている。

ヘルプマークは、経済産業省が7月に案内用図記号を規定する国内規格「JIS」に追加したことで、全国共通のマークとなった。名古屋市ではヘルプマークを取

り入れた独自のヘルプカードを作成、10月から配布し、市バス等で啓発活動も既に始まっている。

ラグビーワールドカップやアジア競技大会の開催により、今後国内外から障害のある方も含めて、多くの方々がお訪されることを期待される。そのようななか、本県でのヘルプマークへの認知度の低さ、取組が進まない現状を問題視し、早期の導入を求めた。

これに対し、知事は「市町村と連携してできる限り早く導入する」と答えた。



ヘルプマーク

その他の一般質問

浅井 よしたか 議員(豊橋市選出 3期)

愛知県の国際化に対応した教育環境の整備、農業高校における6次産業化教育の充実、地域医療の連携推進について

谷口 知美 議員(名古屋市昭和区選出 3期)

発達障害児(者)支援、性犯罪・性暴力被害者支援、コレクティブハウジングについて

永井 雅彦 議員(刈谷市選出 2期)

高齢者の安心した暮らし、長時間労働の是正について

福田 喜夫(日進市及び愛知郡選出 1期)

行政効率とスケールメリットを生かした広域行政の推進、予知前提の防災対策の見直し、リアインパクトを生かした名古屋市と豊田市方面を結ぶ道路整備について